



すみれ通信

すみれ通信は、医療・介護に携わる方に
発信しています

8月号

(第134号)



第1回「在宅医療・介護連携」多職種研修会報告

今回の研修会では、在宅医療に関わる多職種それぞれが、ACP と AD の違いを正しく理解し、ACP の有無によって現場の判断や関係者の納得感が違ってくことを体験的に理解していただくことを目的に、研修会を企画しました。

日 時：令和8年6月17日(水)

19:00~20:30

場 所：藤沢市医師会館 2階ホール

テーマ：知ろう、感じよう、考えよう

「なぜ ACP が大切な」

内 容：①現場で取り組んでいることの紹介

藤沢市民病院 上倉 裕紀 氏

特別養護老人ホーム鶴生園 川延 千恵 氏

湘南ケアプランえん 林 恵美 氏

②整理してみよう DNAR AD ACP の違い

藤沢善行ファミリークリニック 松木孝道 先生

③体験型グループワーク

④救急・集中治療における生命維持治療の終了/差し控えに関する4学会合同ガイドラインのポイント

参加者：65名 関係者11名 計76名



アンケート：回収数 63

・研修を通じて ACP について理解が進んだ。グループワークを実施したことで、ACP の有無によって結果が変わることや納得感の違いを感じることができた。日々の活動に活かせるように取り組んでいく。

・ACP については、本人の意思が大切という概念が、実際は本人より家族の意思決定を尊重することが多かった。しかし、改めて本人の意思が治療決定を行う上でとても大切なのだと気づくことができた。

・各々の ACP の取り組みを知ることができ、グループワークではロールプレイをすることで実体験でき、とても勉強になった。最新のガイドラインを見て勉強したい。

・ACP の重要性が、グループワークや新ガイドラインの説明を聞き再確認できた。

・日頃から現場で継続して、積極的に話し合いをしておくことが大切だと思った。



在宅医療の現場から

有限会社やすらぎスペース
代表取締役 石川 治美

いつも変わらぬご支援をいただき、心よりありがとうございます。皆さまには「やすらぎケアセンター」でお世話になっております。

当センターは、2001 年に藤沢駅北口で機能訓練型デイサービス「やすらぎケアセンター藤沢」を先代の山田が開設しました。私が入社して 22 年となり、その間に事業を継承し代表取締役に務めさせて頂いています。

やすらぎスペースの経営理念としては、『暮らしの中に「やすらぎ」を』を掲げています。

どれだけ利用者さまの暮らしの中に入っていく事が出来るのか。現在、お住まいの場所で、どのようなお手伝いができ、寄り添う事ができるのかを、常に「相手の立場」になって考えて行動しています。

お一人お一人、想いも生活環境も違います。そのため、お一人ずつの状況に丁寧に対応して取り組んでいます。だからこそ、その想いの情報共有はとても大切で、ご利用者さまを取り巻く「チームでの情報共有」は今後の課題と考えています。

ご家族やケアマネジャーさんと連絡を取っていても、他の介護事業所、医療チームとは情報は共有されていないのが現状です。今後はひとつでも多く共有し、より良い支援につなげていきたいと思っています。

「私たちに何か出来る事はなのだろうか。」

「本当にそれでいいのだろうか。」

日々、葛藤し、模索しています。

その方にとって人生の最期に、「ああ、よかった」と思っ
て頂けるようにこれからも取り組んでいきます。それこそ
が私たちに出来る大事な事ではないかと思います。

これからも「やすらぎケアセンター」をよろしくお願いいた
します。

